

森林インストラクターの森 活動報告

- <活動日> 2023 年 4 月 9 日(日)
< 天 気 > 晴れ
< 参加者 > 池田、横山、星野、芳野、沖本、近江、田崎、町田、鴻森、鴻森奥様、辰尾
< 報告者 > 辰尾
<活動内容> 今回の活動は、先回の活動で作ったほだ木にキノコの駒打ちをする作業でした。



駒打ち作業

作業開始前に準備体操をしてから、3月の初めに植樹をした苗木が活着しているかどうかの確認と、森の状況確認も併せて、インストラクターの森をヒノキ林側から登って行って上部の境界付近を反対側の沢の方へぐると移動して降りてきました。インストラクターの森の中央上部は小さな岩片が積み重なりガラガラしているので慎重な足元確認が必要だと再認識しました。

まず、植樹をした苗木の確認ですが、全て活着していました。そして森の状況はつつじの花がちらほら咲いていて、木々の新緑の若葉の中にオレンジ系の花が彩を添えていました。対岸から見てつつじの花が目立つようになる見ごろは、もう少し後になりそうです。

私は久々の参加でしたので、運動不足の為インストラクターの森をぐるりと歩いて戻ってきただけで、大変いい運動になりました。



集合写真

10時頃から物置小屋の近くまで降りて、駒打ちを開始しました。今回用意したキノコの駒は、シイタケ 500 個ナメコ 400 個、ヒラタケ 100 個、クリタケ 100 個の 1, 100 個でした。

ナメコ 400 個はヒノキだけに、シイタケ、ヒラタケ、クリタケの駒はコナラ、カツラ、アカメガシワのほだ木に、それぞれ打ち込みました。

駒打ちが終わり、2年か3年より以前のほだ木に生えていたシイタケを収穫してちょうど正午となり、午前の作業を終え昼食となりました。

お疲れ様でした。

昼食時に星野さんより「病原体持つコウモリ、人里に」と「漆器の良さ」についての新聞記事のコピーが配られました。気に留めておきたい記事でした。

<特記事項等> デッキが広くきれいになりました。



ステージの整備状況

芳野さんが駒打ち作業を抜けて1人で短時間の内に整備してくれました。昼食の為、デッキに戻ってみると写真のようにきれいに整備されていたのでとても驚きました。そして、広くきれいになったステージで昼食を美味しくいただきました。ありがとうございました！